

令和7年度 日南市立吾田中学校 学校評価

<地域と学校が目標とする教育>

『未来を生きぬく力と心』の育成

<基本方針>

「三つの幸」から未来を創り出す教育

- ・「学校は自他の存在の大切さを実感できる場所」
- ・「自分で考え、答えを創り出せる場所」
- ・「学校は、ふるさと良さを伝える場所」

4段階評価

- A 期待以上
- B ほぼ期待通り
- C やや期待を下回る
- D 改善を要する

評価項目	評価指標	具体的な取組（方策）	評価内容	自己評価		委員評価		運営委員からの意見
				標別	統合	標別	統合	
自己肯定 自己を肯定できる生徒の育成	○ 「日南市中学生憲章」における5つの行動目標を意識させ、心身ともに調和のとれた中学生を育成する。 ○ 生徒指導及び生徒会のスローガンのもと、生徒に中学校生活の意義、価値、良さを伝える。	【生徒指導の充実】 ○ 生徒指導の機能を生かした教育活動 ○ 自己指導能力の育成 【生徒会活動の充実】 ○ 生徒総会の充実 ○ 生徒会役員選挙の改変 ○ 委員会活動の活性化 ○ 学校行事の充実	① 吾田中の生徒は、「日南市中学生憲章」を意識し、めざす生徒像「あたたかい心」「がんばる学習」「たくましい身体」に向かって学校生活を送っている。 ② 吾田中の生徒は、生徒指導「本気ONETEAM CREATION」及び生徒会のスローガン「Challenge The Top」のもと、生徒主体による学校行事（生徒総会・体育大会・文化発表会等）の運営を行い、生徒会活動を活発化させている。	B		A		○ 生徒が憲章やスローガンを基に行動する姿が見れる。行事ごとに生徒の成長と吉田中の一体感を感じた。 ○ 学校行事において、生徒が主体的に運営に関わる様子が見えてよく伝わってきた。生徒会においても、学校を良くしようという意見もあがり指導のたまものと思う。 ○ 思いやりのある子ども多いと感じている。行事を成功させようと協力していた。 ○ ICT機器の活用は授業参観を通して活用している事が確認出来た。 ○ 毎年、福祉体験に取り組みられていて、将来にも役立つと思います。 ○ 体育大会・文化発表会を通してクラスの仲間とのつながりが深まり、人間関係づくりにとても良い事だと思えます。 ○ 先輩がその素晴らしい姿を見せている為、後輩もその姿を追いかけ追い抜こうとする様子が伺える。 ○ キャリア教育を通じ大人（社会）と話す機会を大切にしてほしい。修学旅行でも各地の名所や文化を肌で感じてきてもらいたい。 ○ 体力向上に努めている事は体育の授業、体育大会、部活動をとおして感じた。
	○ 生徒の実態を把握し、わかる喜びを味わわせるような授業づくり（ひなたの学びの推進）に取り組む。	【学力向上・指導方法の工夫改善】 ○ 学力調査の分析、考察、対策 ○ ICTを活用した授業構築 ○ 相互参観・研究授業の実施 ○ 「ひなたの学び」を実現する個別最適・協働的な学びの推進	③ 吾田中の生徒は、日々の授業においてタブレット端末などのICT機器を活用して、自ら、また友人どうして学び合いを深める学習に取り組んでいる。	B	B	B	A	
	○ 進路の実現を目指し、主体的に学ぼうとする態度を育てる。	【キャリア教育の充実】 ○ 進路に関する学習や職場体験学習、体験的な活動の実施 ○ 日南ふるさと学の実施	④ 吾田中の生徒は、キャリア教育（進路学習・職業学習等）及び体験活動（日南ふるさと学・修学旅行・職場体験・福祉体験等）をとおして、進路の実現を目指そうとしている。	B		A		
	○ 生徒が自ら創り上げる体育大会や体力向上を目指した活動に取り組む。 ○ 生徒の健康を守る活動を企画し運営する。	【健康教育の充実】 ○ 体育的行事の充実と部活動の活性化 ○ 体力向上プランの活用 ○ 健康づくりへの意識の高揚（感染症対策、フッ化物洗口等）	⑤ 吾田中の生徒は、体育の授業や体育大会・部活動等をとおして、体力の向上に努めている。 ⑥ 吾田中の生徒は、健康づくり（健康観察・感染症対策・フッ化物洗口等）の取組をとおして、自らの健康管理の向上に努めている。	A		B		
他者肯定 他者を肯定できる生徒の育成	○ 他の生徒の発表や考えに耳を傾け、共感やそこから学び取ろうとする態度を育てる。 ○ 体育的行事や文化的行事では、生徒が友人と協力し、互いに賞賛し合える活動に取り組む。	【人権教育の充実】 ○ 「吾田中いじめ防止基本方針」をもとにした人権教育の実施 ○ 生徒会活動における取組 ○ 道徳・学級活動の充実 ○ 学校行事（体育大会や文化発表会等）の充実	⑦ 吾田中の生徒は、道徳・学級活動の授業だけではなく、学校行事（体育大会・文化発表会）等をとおして、豊かな人間関係づくりや思いやりの心を育てている。	B		A		○ 体育大会・文化発表会を通してクラスの仲間とのつながりが深まり、人間関係づくりにとても良い事だと思える。 ○ レインボープランで講話を通じいのちの大切さを学んでいる。生徒・先生共に自分を大切にすごして欲しい。 ○ 講和等の実施を行って頂いて、自他のいのちの大切さが充実されると良いと思う。 ○ 避難訓練等を真面目に取り組んで、いのちの大切さを実感して頂くと良いと思う。 ○ 昨年の災害を踏まえた訓練に取り組んでおり、新たな一歩を踏み出して改良改善されている。 ○ 保護者への引き渡し（災害時）の訓練などもあるとよい。 ○ ホームページや通信等で学校の様子を発信し、子どもたちの活動の様子や学校の取り組みがわかるが、さらに広報を工夫されると地域とのコミュニケーションがもっと広がるのではないかと。 ○ 行事や授業中の会話からも生徒同士が尊重しあっている会話が見受けられる。
	○ いのちの教育（レインボープラン）を通して、自他のいのちを大切に守り育てる態度を育成する。	【いのちの教育の充実】 ○ レインボープランの実施 ○ 「命の大切さを考える日」の設定、講話の実施 ○ 特別支援教育の充実	⑧ 吾田中の生徒は、「いのちの教育（レインボープラン）」等の学習をとおして、他者の意見や考えに共感し、自他のいのちを大切に守り育てる態度を育てている。	A	B	B	B	
	○ 災害を想定した訓練では他者への思いやりの心を持ち、互いに支え合い、安全に避難できる活動に取り組む。	【危機管理】 ○ 交通安全教室の実施 ○ 計画的な避難訓練・安全点検や救命講習法の実施 ○ 自分の命は自分で守ることへの周知徹底	⑨ 吾田中の生徒は、災害を想定した避難訓練等をとおして、自分や友人のいのちを守る態度を育てている。	B		B		
	○ 生徒、保護者、地域と連携し、生徒指導及び生徒会のスローガンに向かって協調する活動に取り組む。	【地域との連携】 ○ 学校運営協議会の協議を踏まえた、PDCA評価の実施 ○ 学校だよりや学級通信、諸たより等の発行、ホームページの更新	⑩ 吾田中学校は、学校の様子や行事等の案内を、学校だよりや学級通信・ホームページ等で発信している。	A		B		

<校長所見>

本年度も、地域と学校が目標とする教育「未来を生き抜く力と心」の育成をめざして、2つの重点目標を掲げて学校経営に取り組んできた。Iについては、学校行事や生徒会活動において、生徒が憲章やスローガンを基に主体的に運営に関わる姿が多く見られた。特に、上級生が素晴らしい姿を見せることで下級生がそれを目標とする好循環が生まれており、生徒自らが分かりやすい資料を作成して発表するなど、自主性の高まりが評価された。学習面においては、タブレット端末などのICT機器活用に長けているだけでなく、紙とデジタルの特性を理解した上での取り組みが定着している。また、体育大会や部活動を通じて、体力の向上にも継続して取り組んでいることが成果として現れている。今後は、職業体験やキャリア教育において、事前の指導を充実させるとともに、生徒が大人や社会と対話する機会をより大切にする事で、さらなる成長を促していきたい。IIについては、行事や日常の活動を通してクラスの仲間とのつながりが深まり、生徒同士が尊重し合える会話が見受けられるなど、思いやりのある人間関係づくりにおいて高い評価を得ることができた。課題とされていた「いのちの教育」については、レインボープランや講話の実施を通じて、生徒・教職員共に自他の命の大切さを学ぶ機会が持たれている。また、昨年度の災害（震度6弱の地震、豪雨災害）の教訓を踏まえ、避難訓練の内容も改良・改善され、真剣に取り組む姿勢が評価されている。しかしながら、災害時の「保護者への引き渡し訓練」の実施を望む声もあり、日々の訓練に加え、家庭や地域と連携したより実践的な防災体制の構築が求められる。効果的な情報発信も踏まえて改善に努めたい。